

オートチューニング時にピークが出ない。

オートチューニングを行っても、ピークが全くでない。真空は問題なく立ちあがっているのに、オートチューニングをしても、オートチューニング中にノイズしか出ない状態の場合、原因がどこにあるのかを切り分けるには、MSD 単体で立ち上げる方法が有効です。

MSD 単体で立ち上げるとは、カラムを接続せず、MSD インターフェイスのカラムヘッド接続部にプラグ栓をして立ち上げることです。

プラグ栓: 穴無しワッフル:5181:3308 を MS インターフェイス用カラムヘッド:05988-20066 に入れて作成します。

5181-3308

05988-20066



MSD 単体で立ち上げてオートチューニングがパスするようであれば、カラムやカラムの取り付けに問題がある可能性があります。

カラムの断線やカラムヘッドの締め付け過ぎによるカラムの破損等が原因で多量の漏れがある場合、真空ポンプは問題なく立ち上がっていても、イオンを飛ばすことができない状態となることがあります。

MSD 単体で立ち上げて現象が改善しない場合は、イオン源のクリーニング、イオン源の組み立て直し、配線の確認等必要となります。

それでも現象が改善しない場合は、トランスファーラインの破損や基盤の故障の原因が考えられます。

プラグ栓を使用して MSD 単体で立ち上げることは、オートチューニングで漏れがあった場合、MSD で漏れているのか？、注入口で漏れているのか？の切り分けとしても非常に有効な方法です。